

メシア初臨預言

□イントロダクション

1. この学びの目的

(1) Messiah (メシア) : ヘブル語で「油注がれた者」、ギリシア語ではキリスト

- 純金の燭台 (出エジプト 25 : 31~39)
- 燈火用の上質のオリーブ油 (出エジプト 27 : 20)
- 祭司を任命するときの油そそぎ (出エジプト 28 : 41)
- 聖なるそそぎの油 (出エジプト 30 : 22~33)
- 王を任命するときの油そそぎ (I サムエル 9 : 15~16、10 : 1)
- ダビデを王に任命するとき (I サムエル 16 : 1~13)
- サウルに反撃しないダビデ (I サムエル 26 : 1~12)
- 油そそがれた者 (ダニエル 9 : 24~26)
- イエスはキリストである (使徒 2 : 22~41)
- 死の恐怖からの解放 (ヘブル 2 : 14~15)
- 二度目、来られる (ヘブル 9 : 27~28)

(2) メシアの活動プログラムは、4つの区分

- ① First Coming (初臨)
- ② Interval of Time (初臨から再臨までの間の期間)
- ③ Second Coming (再臨)・・・教会の携挙・7年の大患難期・地上再臨
- ④ Messianic Kingdom (メシアの王国、千年王国)

(3) 旧約聖書の預言の中から、メシアの初臨についての預言を学ぶ

正統派ユダヤ教では、ひとりのメシアが 2 回来るとは想定していない。二人のメシアがいて、それぞれが 1 回来ると、解釈していた。

- 第一のメシア=苦しみを受けて死ぬメシア (ヨセフの子)
- 第二のメシア=第一のメシアを生き返らせ、地上に平和な王国を立てるメシア (ダビデの子)

2. イエスと弟子たちは、どのような勧めをしたか・・・ただ信ぜよ、ではなく、旧約聖書からイエスのメシア性を立証した

(1) ルカ 24 : 25～27、44～48

モーセおよびすべての預言者から始めて、聖書全体の中で、ご自分について書いてある事がらを彼らに説き明かされた。

モーセの律法と預言者と詩編とに書いてあることは、必ず全部成就する・・・

● ユダヤ教における聖書の3つの区分「律法・預言者・諸書」

☆ 律法：神ご自身が語ったことばを、人が聴いて記録したもの

☆ 預言者：神のメッセージが人の口を通して語られたもの

☆ 諸書：人のことばであるが、その思考を神が導かれた

(2) 使徒 8 : 26～39 預言者イザヤの書、「この聖句から始めて・・・」

(3) 使徒 17 : 1～4 「聖書に基づいて、・・・キリストは苦しみを受け、死者の中からよみがえらなければならないことを説明し、また論証して、『・・・このイエスこそ、キリスト（メシア）なのです。』と言った。」

(4) 使徒 18 : 27～28 「聖書によって、イエスがキリストであることを証明して」

(5) 使徒 28 : 23 「モーセの律法と預言者たちの書によって、イエスのことについて彼らを説得しようとした。」

3. メシア預言の4つのタイプ

(1) 初臨のみ（例 ミカ 5 : 2）

(2) 再臨のみ（例 イザヤ 63 : 1～6）

(3) 初臨と再臨の両方（例 ゼカリヤ 9 : 9～10）

(4) メシアの活動プログラムの全体（例 詩編 110）

4. この学びの重要性

- (1) 旧約聖書の預言は、一度にすべてが明らかにされたのではなく、時代が進む中で、次第にその内容が深められていった。この学びによって、それがわかる。
 - 救いの原理は、時代によらず不変である。救いは神の恵みによって人に与えられる。人は、その救いを、信仰を通して受け取る。「救いは、恵みにより、信仰を通して」である。人の行いにはよらない。
 - しかし、何を信じるかは、時代によって変わる。その時代に神が人に明らかにした、神の啓示の範囲による。たとえば創世記初期の時代の聖徒たちは、メシアが贖いの死を遂げることは知らなかった。彼らが与えられていた啓示は、「女の子孫」(創世記 3:15) が登場して、罪の呪いから解放してくださるということであった。それを信じて、メシアを待ち望むことが、彼らが持つべき信仰の内容であった。
- (2) メシアの初臨に関するさまざまな預言は、ことごとくイエスにおいて文字通り成就した。このことを理解すると、再臨に関する預言も、比喩的・象徴的に解釈せずに、その通りになるとの確信を持つことができる。
- (3) ユダヤ人への伝道においては、新約聖書は使えない。彼らにとって聖書といえば、旧約聖書だけである。旧約聖書の中に記されているメシアの初臨に関する預言は、イエスが、しかもイエスだけが成就できた。そのことを旧約聖書を通して宣べ伝えることが、ユダヤ人を救いの福音へと導く道である。